

実戦操法訓練 実施要項

平成 24 年 11 月 01 日

中央分団長 那智博行

実戦操法訓練とは…簡単に言えば、実際の現場での消火作業に「訓練礼式」を用いて、消防操法要領を遵守した消火演技を行うこと。※ただし「実戦」ですので、大半の停止間動作は省いて良い。
例)ホース展張要領の場合、展張方法にもよるが一連の動作で重要なのは「結合確認の呼唱・換呼」ホースの搬送要領や保持、展張要領や姿勢などは不要で、重要なのは総合審査の5項目です。

規定タイムが設定されていますので、自分達のやり方でタイム切りにチャレンジしてみてください。

実戦操法訓練の流れ

- ① 消防自動車を所定の位置にエンジンを止め待機。
- ② 指揮者は「〇〇分団第〇部 実戦操法 準備完了しました。」と分団長に報告。
- ③ 審査員（署員）の指示によりエンジンを始動する。
- ④ 審査員（署員）の「操作開始」の合図でタイム計測は始まります。
- ⑤ 「操作開始」の合図を受け、指揮者は即時「操作はじめ」全操作員の「よし」から訓練開始。
- ⑥ 火点が倒れたら、審査員（署員）からの「放水中止」の合図。指揮者は「放水止め」の指示。
- ⑦ 「放水やめ」の伝令操作員が戻り「伝達終わり」後、直ちに指揮者は「収め」の指示。
- ⑧ 「収め」の指示で訓練終了ですので、操作員および出場部の団員は速やかに撤収を行う。
- ⑨ 排水は団本部（運営員）の指示に従うこと。排水後のホースは絶対に引きずらないこと。
- ⑩ 収納完了後、指揮者は「〇〇分団第〇部 実戦操法終了しました。」と分団長に報告。

注意事項

注 1 オイルが出る車両（ポンプ）は必ずオイルパンを用意すること

注 2 安全確認の呼唱・換呼は必ず行う。（呼唱・換呼の例）

- ・指揮者の「操作はじめ」の号令で全操作員「よし」から訓練開始。
- ・ドアの開け閉め時は、前後の安全確認をして「よし」～下車。
- ・機関員は「サイドブレーキよし」「真空よし」・「吸口よし」「放口よし」「圧力〇〇よし」
- ・吸管投入時は「吸管投入よし」控え綱を結着したら「よし」
- ・ホース結合時は「結合よし」筒先結合時は「結合よし」
- ・伝達・伝令事項「放水はじめ」「放水やめ」「伝達終わり」
- ・「放水はじめ」「放水やめ」の手信号は必ず行う。夜間想定なので5m以内で行う。
- ・その他、共同作業は相互に「よし」「〇〇よし」または復唱を行う。

注 3 銀メットのホックは指揮者と機関員以外は完全に閉める。※機関員は白ヘル

注 4 使用ホースは 65mmであればOK

注 5 ポンプの圧力は常に 4 キロ以下で送水すること。

注 6 筒先結合は第 2 結合部より先の標的側で… ※筒先は積載の物を使用…（無反動OK）

注 7 吸管の控え綱は、水槽に結合すること。吸管の枕木は使用する。

注 8 規定タイム内に水を出すこと。ポンプ車65秒・積載車50秒